

問1 青と緑の色使いで手を振る人物のようなデザインが描かれ、その下に「FAIRTRADE」と記された認証ラベルが貼られた製品を購入する主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. 途上国の生産者が労働に見合った正当な対価を得て、自立した生活を送れるよう支援するため
2. 関税などの貿易障壁を完全になくし、安価な製品を大量に輸入できるようにするため
3. 飢餓に苦しむ地域に対し、食料や資金を無償で提供する緊急支援を促進するため
4. 自国の産業を保護するために、海外からの安価な製品の流入を制限するため

問2 発展途上国の生産者が生産した農産物や製品を、適正な価格で継続的に取引することによって、生産者の生活改善や自立を目指す仕組みを何といいますか。（2022年 島根公立入試 類似）

1. フェアトレード（公正取引）
2. マイクロファイナンス（小口融資）
3. 政府開発援助（ODA）
4. 自由貿易協定（FTA）

問3 2015年に採択された「パリ協定」は、地球温暖化を防止するための国際的な枠組みです。それ以前に1997年に採択された「京都議定書」と比較したとき、パリ協定の大きな特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 先進国だけでなく、開発途上国を含むすべての締約国が温室効果ガスの削減目標を作成し、対策に取り組むこと
2. 経済発展を優先するため、中国やインドなどの新興国については二酸化炭素の排出制限を完全に免除すること
3. 二酸化炭素よりも影響の大きいフロンガスの排出を禁止することを、先進国だけに義務づけること
4. 希少な野生動植物の国際的な取引を制限することで、地球全体の生態系を維持し、気候変動を抑制すること

問4 日本のエネルギー事情について、2000年度には約20.2%であったエネルギー自給率が、2015年度には約7.4%にまで急激に低下しています。このように自給率が大きく変動した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 奈良公立入試 類似）

1. 東日本大震災の影響で各地の原子力発電所が運転を停止し、不足分を補うために輸入した化石燃料による火力発電の比率が高まったため。
2. 地球温暖化対策として国内の火力発電所をすべて廃止し、電力を隣国からの直接送電による輸入に完全に切り替えたため。
3. 日本国内の電力需要が2000年度と比較して3倍以上に膨れ上がり、国内の発電設備だけでは供給が全く追いつかなくなったため。
4. バイオマスエネルギーの原料となる森林資源を保護するために、国内でのエネルギー生産を法律で全面的に禁止したため。

問5 開発途上国で作られたコーヒーやカカオなどの製品を、適正な価格で継続的に購入することで、生産者の生活改善や自立を目指す仕組みを何といいますか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. フェアトレード
2. エコツーリズム
3. モノカルチャー経済
4. マイクロクレジット

問6 世界の貧困問題の解決に向けた取り組みの一つである「フェアトレード」の説明として、その仕組みや目的を正しく述べているものはどれですか。（2020年 岐阜公立入試 類似）

1. 発展途上国に対して食料や医薬品を無償で提供し、緊急時の人道的支援を行う仕組み。
2. 先進国の企業が途上国の資源を安価に買い占め、製品の販売価格を抑えて消費者の利益を最大化する仕組み。
3. 生産者に労働に見合う公正な価格を支払うことで、児童労働の防止や環境保全、生産者の経済的な自立を促す仕組み。
4. 途上国の関税をすべて撤廃させることで、先進国の工業製品をより多く輸出できるようにする仕組み。

問7 都市部での渋滞緩和や環境保護を目的として路面電車の導入を検討する際、バスと比較した環境的側面について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、一人を1km運ぶ際のエネルギー消費量は鉄道が104kcalに対してバスは183kcal、二酸化炭素排出量は鉄道が22gに対してバスは56gであるものとします。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 鉄道はバスと比較しても、一人当たりのエネルギー消費量が約4割抑えられ、二酸化炭素排出量も半分以下である。
2. 鉄道はバスよりも一度に運べる人数が多いため、一人当たりのエネルギー消費量はバスよりも大きくなる。
3. バスは鉄道に比べて二酸化炭素排出量が少ないため、環境負荷の観点からは鉄道よりバスの導入が優先される。
4. 鉄道とバスを比較すると、二酸化炭素排出量は同程度であるが、鉄道の方がエネルギー効率が極めて悪い。

問8 2020年時点の日本の発電コストに関する試算において、火力（石炭）、原子力、風力、太陽光、地熱、大規模な水力を比較した際、燃料費がかからないという特徴を持ち、1kWhあたりの平均コストが最も低いとされている発電方法はどれですか。（2023年 大分県公立入試 類似）

1. 水力（大規模）発電
2. 太陽光発電
3. 火力（石炭）発電
4. 地熱発電

答え合わせ・解説

問1	答え 1 途上国の生産者が労働に見合った正当な対価を得て、自立した生活を送れるよう支援するため	国際的なフェアトレード認証ラベルは、その製品が公正な取引条件で生産・流通されたものであることを証明しています。この活動は、単なる経済援助とは異なり、貿易という経済活動の中で生産者が「適正な価格」を受け取る仕組みを保証し、持続可能な自立を支えることを目的としています。自由貿易が市場競争を優先するのに対し、フェアトレードは社会的公平性を重視しています。
問2	答え 1 フェアトレード（公正取引）	立場の弱い発展途上国の生産者に対し、労働に見合った正当な対価を支払うことで、貧困の解消や環境保全、生産者の自立を促す取り組みです。持続可能な開発目標（SDGs）を達成するための重要な手段の一つとして位置づけられています。
問3	答え 1 先進国だけでなく、開発途上国を含むすべての締約国が温室効果ガスの削減目標を作成し、対策に取り組むこと	1997年の京都議定書では、温室効果ガスの削減義務が主に先進国のみに課されていました。しかし、地球温暖化という地球規模の課題に対応するため、2015年のパリ協定では歴史上初めて、途上国を含むすべての国が削減目標を立てて対策に取り組むという画期的な仕組みが導入されました。なお、「希少な野生動物植物の取引制限」はワシントン条約の内容です。
問4	答え 1 東日本大震災の影響で各地の原子力発電所が運転を停止し、不足分を補うために輸入した化石燃料による火力発電の比率が高まったため。	2011年に発生した東日本大震災に伴う原発事故の後、国内の原子力発電所が相次いで運転を停止しました。それまで「準国産エネルギー」として自給率の計算に含まれていた原子力の割合が激減し、その不足を補うために天然ガス（LNG）や石炭といった輸入燃料による火力発電を増やしたことが、自給率の急激な低下を招く直接的な原因となりました。
問5	答え 1 フェアトレード	開発途上国の生産者が経済的に自立できるよう、公正な価格で取引を行う取り組みを指します。これにより、不当に安い賃金での労働や、教育機会を奪う児童労働の防止にもつながる重要な国際協力の形です。
問6	答え 3 生産者に労働に見合う公正な価格を支払うことで、児童労働の防止や環境保全、生産者の経済的な自立を促す仕組み。	フェアトレードは、生産者が正当な報酬を受け取れるようにすることで、貧困を背景とした児童労働の削減や、持続可能な農業生産による環境保護にも寄与します。単なる寄付や一時的な援助ではなく、公正な取引という経済活動を通じて、途上国の社会基盤を強化しようとする考えに基づいています。安さを追求する従来の貿易に対する、倫理的な消費活動の一環と言えます。
問7	答え 1 鉄道はバスと比較しても、一人当たりのエネルギー消費量が約4割抑えられ、二酸化炭素排出量も半分以下である。	鉄道（路面電車）とバスを比較した場合、エネルギー消費量（104kcal対183kcal）では鉄道の方が約43%少なく、二酸化炭素排出量（22g対56g）でも鉄道の方が半分以下（約39%）に抑えられています。したがって、公共交通機関の中でも路面電車などの鉄道利用は、バス利用よりもさらに高い環境改善効果が期待できます。
問8	答え 1 水力（大規模）発電	2020年のモデルプラント試算によると、大規模な水力発電は、ダムなどの建設にかかる資本費は大きいものの、燃料を必要としないため燃料費が0円であり、他の発電方法と比較して最も発電コストが低いという結果が出ています。太陽光発電や風力発電も燃料費はかかりませんが、現時点の日本のコスト構造においては、長期にわたって安定稼働している大規模な水力発電が、総合的なコスト面で最も優位にあるとされています。